



2011 年 3 月 16 日

株式会社スカパーJSAT ホールディングス
スカパーJSAT 株式会社

東北地方太平洋沖地震の被災地に対する衛星通信サービスによる支援について

東北地方太平洋沖を震源とする地震により、被害にあわれた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

スカパーJSAT が保有する通信衛星によるサービス提供の状況につきましてお知らせいたします。

2011 年 3 月 11 日に東北地方太平洋沖地震が発生しましたが、スカパーJSAT が保有する通信衛星による「衛星通信サービス」については通常どおりのサービスを提供しております。

また、災害復旧支援策として、災害対応機関等に対し、必要な衛星中継器の割り当ての実施をするとともに、順次支援策の実施の準備を進めております。現在、利用の申し込みが急増しておりますが、対処の状況につきまして、以下のとおりお知らせします。

復興支援に対し当社の保有する通信衛星によってご協力できることにつきましては迅速に対応してまいります。被災された地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

記

1. 衛星通信サービス利用について

- (1) 警察庁・防衛省・関係各省庁・通信キャリア及び米軍など災害復旧のための各機関の利用を最優先として、トランスポンダ（衛星中継器）の割当てを実施しています。
- (2) 東北電力をはじめ電力会社間の利用帯域の融通に関しては、積極的に支援すると共に、スカパーJSAT が保有する Superbird-B2 衛星の空き帯域を優先的に割り当てています。
- (3) 報道機関の随時利用の急増に関しては、全て対応するとともに、新規に関しては、比較的余裕がある JCSAT-5A 衛星へ割り当てています。

2. 災害復旧支援について

スカパーJSAT が提供する VSAT サービス（※）については、現在保有する超小型可搬地球局（8 式）を支援要請に応じて、随時貸し出すこととしています。これにより、被災地から、電話だけでなくインターネット/ビデオなどの通信が可能となり、迅速な復旧支援に対応が可能です。

※VSAT サービス : EsBird、ExBird などの、超小型地球局を利用した衛星通信ネットワーク

以上